

## アジア・フロンティア森林協力地域戦略プラン策定基礎調査事業(継続)

【平成19年度概算決定額 13,035(14,557)千円】

### 事業のポイント

アジア地域において、今後森林・林業協力体制を確立していく必要のある国を対象に、我が国の森林・林業協力の戦略プラン策定に資する基礎調査を実施します。

### (事業の背景等)

- ・ 我が国のODAを国益に沿った形で戦略的に実施すべきとの声がある中、アフガニスタン等戦後復興地域等への国際協力の重要性が増している。これらの国々では森林減少に歯止めがかからず、また協力を要請する体制も整っていない。
- ・ また、森林・林業分野において重点地域であるアジア地域において、従来十分な森林・林業協力がされていない国が存在している。

### 政策目標

事業対象国の持続可能な森林経営に同事業がどれだけ寄与したかについて最高度の評価を獲得。

(5段階評価のアンケート調査を実施し、事業対象国から最高点の評価値を得る。)

### <内容>

#### 1. 戦後復興地域での森林協力可能性についての調査

アフガニスタン等の戦後復興地域を対象に森林回復計画等の戦後復興に必要なデータを整備し、復興ガイドラインを策定します。

#### 2. 従来森林・林業協力が十分にされていない国等での調査

従来我が国の森林・林業協力が全く又はほとんど実施されていない国、また、経済水準は比較的高いものの、森林復旧を含む森林・林業協力の必要性が高い国を対象に調査を行い、協力のスキームについて検討します。

### <補助率>

定額

### <事業実施主体>

民間団体

### <事業実施期間>

平成17年度～21年度(5年間)

[担当課：林野庁計画課]